

鴨川市教育振興計画

～学んでよかった、住んでよかったと
実感できる 鴨川市～

平成23年3月

鴨川市教育委員会

(3) 安全・安心な学校づくり

学校ごとに防災マニュアルや防犯マニュアルを作成し、安全対策について全教職員の理解を図り、避難や不審者の制圧などの実施訓練を行います。また、保護者や関係各課と連携し、校内や通学路の点検を行い、校内への不審者の進入、地震の際のブロック塀倒壊や落下物、交通事故、犯罪などについての安全マップを作成し、施設の安全対策や通学コースの見直し、「こども110番の家」の拡大など、通学路の安全対策を図ります。

さらに、集団下校の実施や親による送り迎えの依頼、ボランティアによるパトロール、防災無線による大人への見守りの呼びかけなどの安全対策を要請するとともに、防災教育、交通安全教育、防犯教育を計画的に実施し、子どもたちが自らの命を自ら守る力をつけられるようにする防犯ブザーの携帯を図ります。

9. 小中一貫教育を推進する

小中一貫教育を通して「生き方を考える力」「基礎学力と自ら学び考える力」「豊かな心と人間関係をつくる力」を育てます。また、子どもの発達、学習の系統性、いわゆる「中一ギャップ」の問題等の視点から、小中学校のなめらかな接続を考え、実践していきます。

(1) 分離型小中一貫教育

鴨川中学校区、安房東中学校区において、小中学校が連携や交流を強化して、特色ある一貫教育、9年間の積み重ねや連続性を大切にした教育活動を行います。特に、7つの小学校と1中学校となる鴨川中学校区において、その連携や交流のあり方について検討し、実践します。

(2) 統合型小中一貫教育

同一敷地内に小学校、中学校を設置し、小中9年間の一貫したカリキュラムのもと、計画的・継続的な教育活動に取り組みます。平成21年度に開校した「長狹学園」（長狹小学校・長狹中学校）において推進している統合型一貫教育をより充実させていきます。

1-5 学校給食の充実

■現況と課題■

学校給食は、児童生徒に栄養バランスのとれた給食を提供することにより健康の増進、体位の向上を図るとともに、日常生活における正しい食習慣の習得をめざしています。

更には、給食の準備、あとかたづけ等を行い学校で教師と食事を共にすることで児童生徒相互または教師と好ましい人間関係の育成を図ります。

このことから、学校教育活動の一環として食の重要性を認識させ、栄養が偏らないように、好き、嫌いのない指導が必要となります。

平成22年度は、幼稚園9園、小学校10校、中学校4校、安房特別支援学校鴨川分教室1校、計24校に対し、給食数約3,150食を年間195日提供しています。このため、学校給食を時間内に各学校に配送するためには、厨房機器類の正常な作動が必要不可欠となります。

給食センターの施設については、平成14年1月の稼働で9年が経過していることから、厨房機器・配管（排水、給湯、給水、蒸気）及び設備等に老朽化が目立ち業務に支障をきたす恐れがあるために更新する必要があります。

■基本目標■

食育の推進を図るとともに、給食業務を円滑に、かつ、安全・安心に供給するため、施設・厨房機器類等の点検調査を行い、調理業務等の民間委託を進めます。

■取り組みの方向■

1. 施設・設備の充実

老朽化した設備・厨房機器の更新を図り衛生管理の徹底を図ります。

2. 民間委託の推進

民間委託の導入により経費の削減並びに給食の資質の向上を図ります。

3. 食育の推進

食の重要性を認識させるために食育の推進を図ります。

4. 地産地消の推進

地元産の「こしひかり」の消費拡大を推進します。

2 生涯学習の充実

2-1 子どもの遊び・体験・自立の支援

■現況と課題■

子ども同士の遊びや生活体験・社会体験の機会が減少し、大人になるために必要な自立意識や自立力を身につけられない子どもが増えてきています。

本市では、地域と学校が連携協力した奉仕・体験活動、放課後子ども教室、陸上競技やスキーなどの教室、川や磯、山の生きもの観察会、子ども会やスポーツ少年団などの青少年育成団体の支援、わんぱくハウスの活用などを行い、子どもたちが様々な体験を行う機会の充実を図ってきました。

子どもたちが地域で友達や異年齢の子どもたちと遊び、大人や青年などと様々な体験を行い、生きる力を身につけることが求められます。

■基本目標■

鴨川市の子どもたちが、友達同士の遊びやスポーツ、様々な体験活動、大人との交流などを通して、将来への目標をつかみ、社会性や創造力、主体的な学習意欲など、「生きる力」を身につけることができるよう、生涯学習機会の充実を図ります。

■取り組みの方向■

1. 幼児の遊びや体験機会の充実

幼児期は、身体的基础を養い、生活習慣や人とのコミュニケーション能力、学習意欲を身につける、生涯学習の第一歩の重要な時期です。

親子や子ども同士の遊びなどを通じて、体を動かす楽しさや基礎的な生活習慣を身につけたり、社会的なルールを学んだり、様々な楽しい体験などを通して興味・関心を広げ、学ぶ意欲の基礎を身につけることができるよう、安全な遊び場の整備と活用とともに、地域の子育てグループやボランティアと保育園や幼稚園、公民館や図書館などの連携を強化し、多様な体験メニューの提供と情報提供の充実を図ります。